

保土ヶ谷区
感染症対策指導者養成研修

新型コロナウイルス感染症 対策報告



2023年10月10日

聖隷横浜病院

感染管理認定看護師

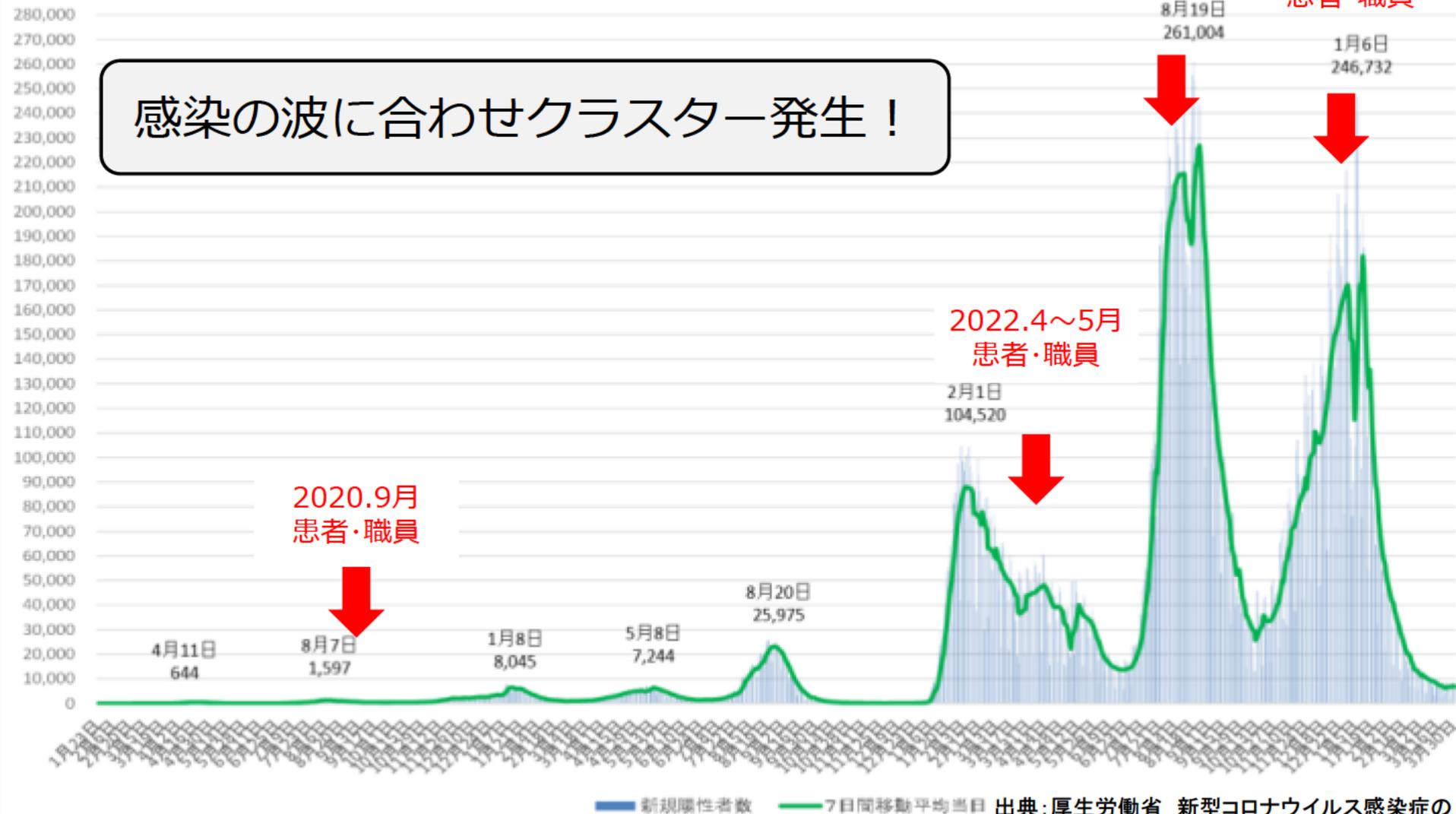
山下 綾子

感染者数と当院のクラスター発生

2022.7~8月
患者・職員

2022.12~
2023.1月
患者・職員

感染の波に合わせてクラスター発生！



感染を拡大させない

- ◆正しい防護具の着用を指導
- ◆手指消毒
- ◆院内清掃（高頻度接触表面）
- ◆情報の共有



個人防護具の着け方

看護部(2020/4/30)



情報共有：院内への発信

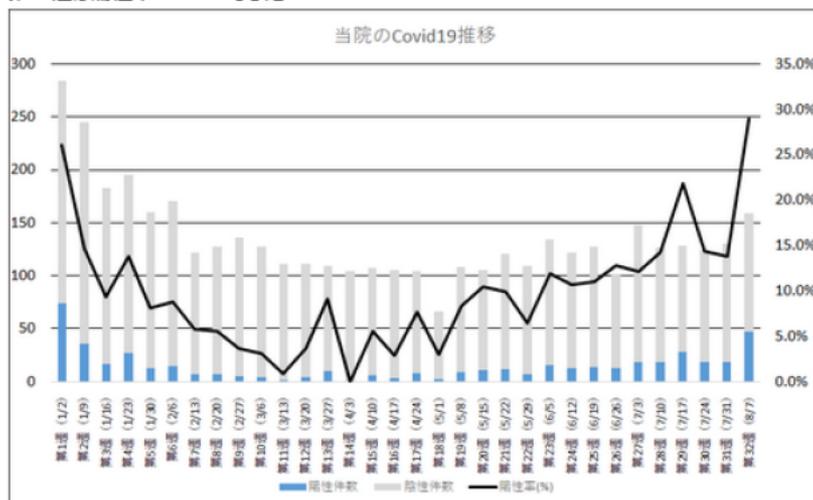
職員各位

第32週（8/7～8/13）の感染状況報告です。

【当院】

当院における週単位の検査数（件）、陽性者数（件）、陽性率（%）の推移です。

第32週は陽性率29.6%でした。

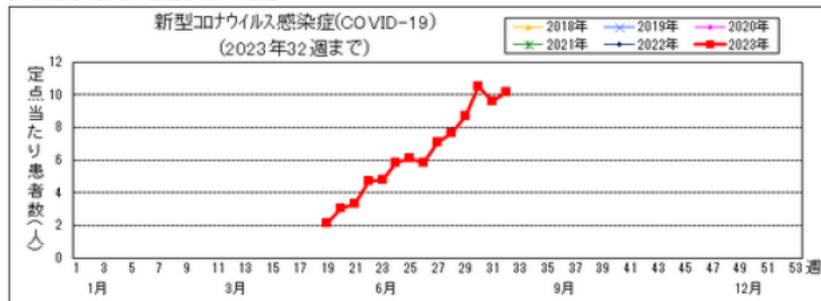


【横浜市（定点あたりの患者報告数）】

横浜市内の最新の流行状況です。

グラフの「定点あたり患者数」とは、定点の医療機関で1週間に平均何人のCOVID-19患者が受診した、という意味です。

詳細は添付資料をご参照ください。



コロナの感染者数が
報道されなくなった・・・

職員の増加！
院内発生！！

緊急周知
【新型コロナ通信】(08月18日10時00分時点)

●職員の陽性者が複数名発生しています
院内・外での行動・感染管理に十分注意してください

院内感染警戒レベル **レベル3**

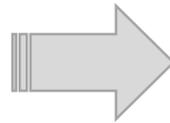
現在の対策

◆共有スペースでの食事場所

間隔をあけ、対面しないよう変更

→陽性者発生時は自室で食事

《コロナ前》



《現在》

◆陽性者の同室者の観察期間

◆陽性者が発生した病棟でのN95マスク着用

◆面会制限の継続

職員間の感染を防ぐ

◆休憩室の整備

- 間隔をあけ、人数制限
- 休憩場所の確保

◆更衣室の整備

- ロッカーの配置変更
- 手指消毒薬の配置



～新型コロナ対策～ 休憩中の注意点

新型コロナウイルスの
集団発生を防止するため

- 時間をずらして休憩に入る
- 換気をしながら休憩する
- 密集、密接して食事を取らない

※密集、密接とは
対面で人と人との距離が近い接触のこと
(互いに手を伸ばしたら届く距離で2メートル程度)

各自の配慮をお願いします

3つの密を避ける

密閉・密集・密接

学んだこと

◆日常の感染対策の重要性

- ・適切な手指衛生、防護具の着用、清掃

◆情報の周知・徹底

- ・職員全員が共有認識を持つ

◆正しい対策の継続

- ・対策実施状況の確認

◆患者の観察

- ・変化に気付く、見逃さない

◆職員の健康管理

- ・体調不良時は休める風土